

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	全職員に外部研修の機会を増やす	常に変化する心身のケアを研修等で学び理念である心に寄り添ったケアを達成する。	学びを生かして 笑顔で会話。 みんなで考える。 実現に向けて行動する。	12ヶ月
2	23	心身の変化 ・より良い生活の保持	個々にあった適切なケアを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の疾病についての知識や看護の方法を学びケアに 取り組む。 ・利用者の心身の状態を観察し、気づきを多くする。 ・日常生活において寝たきりにならない重度化を予防できるようケアをする。 	12ヶ月
3				<ul style="list-style-type: none"> ・個々にあった食事のペースや雰囲気と一緒に楽しむ。 ・個々の残存能力により出来ないこともあり それぞれの利用者様に喜んで頂ける取り組みをする。 ・体調を保持しながら外出が出来るよう日常の取組をする。 	
4		医療が重点的になった場合	医療との連携を図り少しでも安楽に過ごして頂く。	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の指示を仰ぎ 看護と介護の連携を図る ・医療機関と連携を図れるように、地域連携室に毎月訪問している。 	12ヶ月
5		表現力が希薄	一日大笑	利用者様が個々に大笑いしていただける取り組み	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。